

令和5年度 第2回 子ども・子育て会議 会議録

- ・開催日時 令和6年2月7日（水）午前9時30分～11時
- ・開催場所 燕市役所 会議室 301
- ・出席委員 小池会長、田邊副会長、柳井田委員、加藤委員、松井委員、渡邊委員、宮路委員、鈴木委員、二平委員、新田委員、田中委員、吉田委員、角田委員
- ・欠席委員 安田委員、高野委員
- ・事務局 こども政策部：白井部長
こども未来課：横田課長、横山課長補佐、中濱主任保育指導主事、濱田係長、大坂係長、荒木係長
子育て応援課：鈴木課長、佐藤主幹
学校教育課：長課長、星野係長
- ・会議次第
 - 1 開会
 - 2 こども政策部長あいさつ
 - 3 報告
 - (1) 第3期燕市子ども・子育て支援事業計画及び燕市こども計画について
 - (2) 燕市全天候型子ども遊戯施設の概要と施設予約・入場システムについて
 - (3) 小池保育園・水道町保育園の民営化の進捗について
 - (4) 令和6年度の保育園・こども園・児童クラブの申込み状況について
 - 4 その他
次期開催予定について
 - 5 閉会

1 開会

2 こども政策部長挨拶

3 報告

- (1) 第3期燕市子ども・子育て支援事業計画及び燕市こども計画について
→事務局から資料1に基づき説明

(議長)

皆さんから質問や確認しておきたいことはありますか。

(委員)

策定のスケジュールにある「ニーズ調査」は具体的にどのように行いますか。

(事務局)

前回の第2期燕市子ども・子育て支援事業計画の策定時には、子育て世帯を抽出してアンケートを配付し、回答してもらいました。質問内容は課内で決まったものや市や部局で考えたもの、本会議内の中での意見を協議していきたいと考えています。

こども計画策定にあたって、どのような調査が必要となるかはガイドラインを参考にしながら、(第3期燕市子ども・子育て支援事業計画と)合わせた形でアンケート調査を行います。また、子どもの意見の聴取や意見の反映も大事な部分となります。新潟市では小・中学生から意見を聴くなどしていると聞いています。燕市でも一般のアンケートの他に子どもたち向けのアンケートを取っていくことを考えています。

(会長)

来年度から実際にこども計画策定に関わることになるので、特にニーズ調査は委員の皆さんに意見を伺い、進めていくことになると思います。

こども計画の中に何を盛り込むかは自治体によって様々です。燕市は現状様子見ですが、早くから一体的に取り組んでいる自治体もあります。国が内容に幅を持たせていることもあり、どのような形で展開していくか、自治体によってかなり多様になると思います。子どもに関する各種計画を一本化していく中で、皆さんと一緒に何を確認していくのか考えていきたいと思うので、その心づもりでいてほしいです。

子ども・子育て支援事業計画で展開をしてきた、保育ニーズや地域子育て支援ニーズをベースにしながら、今後必要となるサービスを確保していくことが大切だと思います。そのような観点もニーズ調査に盛り込まれますし、「こどもまんなか社会」の実現により、社会がどのように変わっていくのかも考える必要があります。ボリュームが大きくなりそうですが、進めていきたいと思います。国が出すガイドラインも見ながらになるかと思います。

事務局からもあったように、こども家庭庁が発足し、子どもの声をどのように聴き、どのように実現していくかが重視されています。

(2) 燕市全天候型こども遊戯施設の概要と施設予約・入場システムについて

→事務局から資料2に基づき説明

(会長)

皆さんから質問や意見はありますか。

(委員)

災害時の対応についてどのように考えていますか。

(事務局)

内容については、現時点では決まっていません。これから運営者が決まり、一緒に災害発生時のマニュアルを整備します。災害だけではなく、事故等も想定に入れ、それぞれのマニュアルを整備していきます。

(会長)

指定管理の仕様に盛り込まれますか。

(事務局)

仕様書の中に「マニュアルを策定すること」としているので、今後指定管理者と一緒に考えていきたいと思っています。

(委員)

各遊戯スペースにおける利用の年齢制限についてお願いがあります。団体利用だと小学1、2年生が生活の授業時に行くことが想定されます。小学生は「わいわい広場」とネット遊具しか使えないように見えますが、中には体が不自由な子や障がいがある子がいるため、低年齢が対象の「すくすく広場」も利用できるような弾力的な運営をしてほしいと思います。

(事務局)

年齢制限については、入ってはいけないのではなく、主な対象年齢を設定しているだけで、遊びのルールを守っていただければ、(対象年齢外のスペースへ) 入ることが可能です。安心して利用してほしいと思います。

(事務局)

全天候子ども遊戯施設は来年度のこども未来課の目玉事業です。休日は大変混み合うことが予想されますが、平日は休日に比べると利用が少ないと思われるので団体の方からも利用してもらいたいです。保育園・こども園・小学校・特別支援学校などへPRに努めており、施設を知ってもらい、利用してほしいと思います。竣工時には本委員の皆さんの視察も計画していきます。

(委員)

学校長として、この施設は1年生の生活の授業にふさわしいと思いますが、今バスの予約が取れません。学校教育課にもお願いしていますが、校外学習時のバスの確保が非常に難しいです。近くの学校であれば歩いて行けますが、その他の学校はバスで行くしか手段がないため、団体で行けるように調整してもらえると助かります。

(事務局)

バスの問題はよく承知しています。この場での回答は難しいですが、学校教育課と協議し、利用できるようにしていきたいと思います。

(委員)

プレイリーダーは何人くらいを予定していますか。障がいがある子どもを連れていくときに、遊びを提案する職員だけでなく、手助けしてくれる職員がいるといいと思います。

(事務局)

指定管理者募集の仕様書の話になりますが、最低限館長が1人、プレイリーダーが平日2人・休日3人、見守り員が平日1人・休日2人、受付が平日1人・休日2人を配置する予定です。業者によってはこれより多く配置する提案もあるかと思います。

先ほどの話のとおり、平日は団体の利用がメインになることが予想され、混み合うこともないかと思いますが、平日はプレイリーダーと見守り員を合わせて団体利用者の見守りと遊びのお手伝いをする予定です。

(委員)

先ほどバスの話が出ましたが、バスを手配するなら公立保育園・こども園だけでなく私立園も同じく使えるようにしてほしいです。

(事務局)

私立園についても、検討していきます。

(委員)

交流スペースはどのような活用を想定していますか。

(事務局)

交流スペースは座卓とテーブルを置く予定で、飲食できるスペースとして想定しています。休日は、1クール遊んでまだ遊び足りなければ、交流スペースで休憩して、空きがあれば次のクールに再入場することも可能です。

(会長)

大人だけの入場は不可としていますが、視察や見学の場合はどうしますか。県内にある大人入場不可の施設は、見学したくても入場できないことがありました。多くの見学希望があると思いますのでご検討ください。

小学校高学年の児童が(大人の同伴がなく)子どもたちだけで遊びに行く場合はどうなりますか。今子どもの居場所が大切になっている中で、低学年の児童だけで遊びに行くのは難

しいかもしれませんが、高学年の子どもたちの居場所としてうまく活用されるといいと思いました。親子で遊びに来る施設だと思いますが、一方で（子どもの）居場所のような機能もあるといいと思いました。特に交流スペースはうまく使えたと遊び場、居場所になると思います。

（事務局）

子どものための施設であり、大人だけの入場を認めてしまうと、その分利用できる定員が減ってしまうため、大人だけの入場は基本的には不可とし、視察は可と考えています。しかし他県の同様の施設では、視察が年間数百件というところもあるため、オープン後に改めて検討しますが、視察の受け入れは積極的に行っていきたいと思います。

小学校高学年だけでの入場についてですが、子どもだけでの入場を認めている施設もありますが、本施設は子どもが怪我をしないようにするため、できるだけ保護者に見守ってほしいと思っています。他には親の連絡先を登録した場合のみ子どもだけでの入場を認めている施設もありました。今後運用していく中で検討していききたいと思います。

また、施設全体にWi-Fi環境を設ける予定です。遊戯スペースには大人がいないと入れませんが、交流スペースまでは子どもだけで入れます。暑い夏でも、ポータブルゲーム機を持ち寄って、涼しい交流スペースで遊ぶことも想定しています。

（会長）

ぜひそのような点も情報発信してください。

最初から子どもだけで入場するのはリスクがあると思いますので、最初の登録時は保護者と一緒に来るなど工夫しながら展開して行ってほしいと思います。

（事務局）

全天候こども遊戯施設の整備に合わせて、隣接する交通公園にある児童研修館「こどもの森」のリニューアルを検討しています。機能を整理し、全天候こども遊戯施設は体を育む「体」の施設、こどもの森は「知」の施設としていきます。委員視察の際は両方の施設を見てほしいと思います。

（委員）

安全管理面についてです。私は現在子育て中で、子どもから目を離すことができません。こどもの森や交通公園に行っても保護者はスマホに夢中で子どもを見ていないため、危ない場面が何度かありました。長岡市にある屋内施設に遊びに行ったとき、保護者が子どもから少し目を離しただけでも、職員が声掛けしていたので、（燕市も）そのような施設になるといいと思いました。

(事務局)

ダイナミックに遊べる遊具を設置しますので、子ども向けにルールを設ける予定です。一方で子どもをしっかり見守ってもらうために、大人向けのルールも設ける予定です。スマホをいじっていて子どもを見ていない保護者がいたら声掛けすることも検討しています。2階部分のネット遊具も含め、大人もすべてのエリアに入れるので、子どもと一緒に遊んでほしいと思います。

(委員)

市内の小学校・保育園・こども園の関係者の視察をさせてほしいです。実際に遊具等を見ながら適切な対象年齢を検討したり行事予定に取り入れたりしたいと思います。

(事務局)

調整したいと思います。

(副会長)

指定管理者制度ならば、管理運営側からの意見も取り入れるべきだと思います。オープン後も変更や検討の余地がある部分を残してほしいです。

(事務局)

今回指定管理者制度を導入し、民間企業のノウハウを取り入れて活かせる運営を行ってほしいと思います。料金や休館日、利用時間は指定管理者と協議して変更できることになっています。運用面全般について指定管理者からの提案を取り入れながら、より良い施設となるようにしていきます。

(会長)

今後もこの会議の中で進捗状況など報告してもらえると有難いです。

(3) 小池保育園・水道町保育園の民営化の進捗について

→事務局から説明

(会長)

質問等がありますか。

(委員)

「ニーズがあれば休日保育を行う」とありますが、小池保育園と水道町保育園の園児のみ

が対象ですか。それとも市内の園児全員が利用できますか。

(事務局)

資料にあるように、休日保育は見送ることになりました。実施することになれば協議を行いたと思います。

(委員)

(休日保育を) 希望する保護者はいましたか。

(事務局)

保護者アンケートでは数名希望者がいましたが、今の体制では実現できないため見送らせていただいています。ニーズの変化を確認しながら検討していきます。

(4) 令和6年度の保育園・こども園・児童クラブの申込み状況について
→事務局から説明

(会長)

質問や意見等がありますか。

(副会長)

充足率が100%を超えていると話がありましたが、そもそも100%を超えてよいものですか。

(事務局)

申請数に対して受け入れ可能数を割り出して求めた充足率であり、実際の利用は申請数と同じではないことがほとんどです。常に受け入れ可能数を超えているわけではありません。

(副会長)

必要面積や職員配置等はありませんか。

(事務局)

児童1人につき1.65㎡という国の基準に沿って運営をしています。職員配置についても児童20人につき1人という国の基準に対し、燕市は市独自の基準の児童10人につき職員1人を配置しています。

(副会長)

なかまの会も含め、ニーズに対しての供給はどうなっていますか。

(事務局)

なかまの会も順次児童クラブ化を進めているところです。(児童クラブと同様に)学校と連携して特別教室を借用し、必要面積を確保しています。

(副会長)

ニーズに対して供給は間に合っていますか。希望しているのに定員に達しているため入れないという人はいませんか。

(事務局)

現在、全てのニーズに対応しています。

(委員)

児童クラブフレンドでは現在充足率が100%を超えている状態です。正直な話、ぎゅうぎゅう詰めです。ボランティア室を開放することによって、子どもたちはかなり広いスペースで遊んでいます。今後のことですが、児童クラブフレンド1と2だけでは厳しい状況であるため、いつまでも借りておくのではなく、小学校のボランティア室を児童クラブの部屋に変えていくようなことも学校と協議するべきだと思います。

(事務局)

課題と捉えていますので学校と協議して進めさせていただきます。

(5) その他

(委員)

以前から感じていたことですが、公立保育園に申し込む時にインターネット上に公立保育園の情報があまりにも少ないと思います。施設情報や公開されている内部の情報があまりにも少なすぎて、保育園選びをするときにとても困ります。実際、今働いている人も休みを取るのも大変な中、園選びにおいて実際に施設を見学することはとても大切ですが、数をまわるのは難しいです。私立園はホームページが充実していて園の様子が分かりますが、公立園は見学に行く施設を絞るための情報が少なすぎます。内部の写真や様子だけでも参考になると思います。もう少し公開してもらえると保育園選びに助かると思います。

(事務局)

公立園は今まで個別のホームページがありませんでしたが、今年度から個別のページを作りました。施設内部の写真は掲載していないため、今後工夫していきたいと思えます。

4 その他

5 閉会